

<過去受賞者一覧>

大阪文化賞(最近の受賞者一覧)

平成21	ヤノベケンジ	(現代美術)
平成22	井山裕太	(囲碁)
平成23	石黒浩	(ロボット工学)
平成24	三世 桐竹勘十郎	(文楽)
平成25	片岡愛之助	(歌舞伎)
平成26	丸谷明夫	(音楽)
平成27	松本雄吉	(現代演劇)
平成28	森村泰昌	(現代美術)
平成29	井上道義	(音楽)
平成30	朝井まかて	(作家)
令和元	豊島将之	(将棋棋士)
令和2	公益財団法人山本能楽堂	(能楽・文化振興)
令和3	四代田辺竹雲斎	(芸術・美術)
令和4	塩田千春	(芸術・美術)
令和5	富田一樹	(芸術・音楽)
令和6	前田妃奈	(芸術・音楽)
令和7	藤本壮介	(芸術・美術)

※平成20年度は休止

※平成21年度から5つの賞(大阪文化賞、大阪文化賞特別賞、大阪芸術賞、大阪芸術賞特別賞、大阪文化発信賞)を大阪文化賞に一本化した。

また、これまでの「長年の功績」に対する賞から「旬の活躍」(直近1年間の活躍)に対する賞に変更した。

大阪文化賞(当初からの受賞者一覧)

昭和38	日紡貝塚バレーボール・チーム	(体育)
	日本ライトハウス	(文化振興)
昭和39	望月信成	(美術振興)
	出口常順	(文化振興)
昭和40	飯島幡司	(文化振興)
	布施信良	(医学)
昭和41	鶴岡一人	(野球)
	本田良寛	(医療活動)
昭和42	松原與三松	(文化振興)
	犬養孝	(国文学)
昭和43	阿部孝次郎	(文化振興)
	中村祐吉	(文化振興)
昭和44	水川清一	(文化振興)
	浅田敏章	(文化振興)
昭和45	西脇りか	(教育)
	山田スイミング・クラブ	(水泳)
昭和46	早川徳次	(特殊教育)
	大阪文学学校	(郷土文化)
昭和47	鷺谷禱風	(郷土研究)
	財団法人大阪高等技術研修所	(産業教育)
昭和48	橋本宇太郎	(囲碁)
	吉村一夫	(音楽評論)
昭和49	天牛新一郎	(書籍)
	日本ボーイスカウト大阪連盟	(青少年教育)
昭和50	中村廣三	(体育振興)
	黒羽兵治郎	(郷土史)
昭和51	栗本順三	(文化振興)
	ガールスカウト日本連盟大阪府支部	(青少年教育)
昭和52	白敷美輝雄	(医学)
	小野攝龍	(郷土文化)
昭和53	野口幸助	(音楽振興)
	牧村史陽	(郷土史)
昭和54	松井正三	(舞台装置)
	三宅忠一	(工芸振興)

参考資料

昭和55	梶原三郎	(衛生学)
	阪本平一郎	(郷土史)
昭和56	梅棹忠夫	(民族学)
	吉田常雄	(医学)
昭和57	小島吉雄	(市民教養)
	竹原吉助	(文化振興)
昭和58	岡本良一	(史学)
	藤澤一夫	(歴史考古学)
昭和59	里井達三良	(文化振興)
	原清	(音楽振興)
昭和60	野間光辰	(国文学)
	山村雄一	(医学)
昭和61	藤野恒三郎	(医学)
	吉永孝雄	(文化振興)
昭和62	中村幸彦	(近世国文学)
	牧野直隆	(アマチュア野球)
昭和63	曲直部壽夫	(医学)
	林正之助	(大衆芸能)
平成元	奥野良臣	(医学)
	直木孝次郎	(古代史)
平成2	坪井清足	(考古学)
	小松左京	(文化振興)
平成3	木村重信	(芸術学)
	山野忠彦	(樹木保護)
平成4	作道洋太郎	(日本経済史)
	谷口豊三郎	(学術振興)
平成5	山崎正和	(演劇学)
	財団法人サントリー文化財団	(文化振興)
平成6	菅泰男	(英文学)
	湯木貞一	(料理)
平成7	岡田文江	(演劇振興)
	能村龍太郎	(文化振興)
平成8	梅溪昇	(日本史)
	四代 大江巳之助	(文化振興)
平成9	上田正昭	(日本・東アジア古代史)
	谷沢永一	(日本近代文学)
平成10	岡田善雄	(細胞工学)
	佐治敬三	(文化振興)
平成11	川島康生	(医学)
	吉鹿徳之司	(文化振興)
平成12	上田篤	(都市計画)
	木南道孝	(スポーツ振興)
平成13	脇田修	(日本近代史)
	井村シンクロナイズスイミングクラブ	(水泳)
平成14	綱干善教	(考古学)
	西村公朝	(仏像彫刻)
平成15	石毛直道	(民族学)
	金関恕	(考古学)
平成16	末次攝子	(文化振興)
	鳥越憲三郎	(文化人類学・古代史)
平成17	柏木哲夫	(医学)
	芝哲夫	(化学)
平成18	熊谷信昭	(電磁波工学)
平成19	中村桂子	(生命科学)

大阪文化賞特別賞

平成18	社団法人上方落語協会会長桂三枝	(文化振興)
------	-----------------	--------

大阪芸術賞

昭和38	青木大乗 榎茂都陸平	(日本画) (日本舞踊)
昭和39	安田青風 十三代目 片岡仁左衛門	(短歌) (歌舞伎)
昭和40	八代 竹本綱大夫 二代目 山村若	(文楽) (日本舞踊)
昭和41	長谷川幸延 松下真一	(文芸) (作曲)
昭和42	小坂奇石 司馬遼太郎	(書) (小説)
昭和43	花柳有洸 花登筐	(日本舞踊) (劇作)
昭和44	六代 鶴澤寛治 菊原初子	(文楽三味線) (邦楽)
昭和45	吉田栄三 ミヤコ蝶々	(文楽) (喜劇)
昭和46	竹本相生翁 富士正晴	(文楽) (小説)
昭和47	豊竹小仙 二代目 中村鴈治郎	(邦楽) (歌舞伎)
昭和48	浅野孟府 大西信久	(彫塑) (能楽)
昭和49	阿波野青畝 須山知行	(俳句) (箏曲)
昭和50	松井正 藤山寛美	(洋画) (喜劇)
昭和51	花田峰堂 田辺聖子	(書) (小説)
昭和52	須田剋太 三世 茂山千作	(洋画) (狂言)
昭和53	直原玉青 三世 桂米朝	(日本画) (落語)
昭和54	四世 竹本越路大夫 辻井市太郎	(文楽) (吹奏楽)
昭和55	岩宮武二 山村たか	(写真) (上方舞)
昭和56	河井達海 四世 竹本津大夫	(洋画) (文楽)
昭和57	菊棚月清 曾我廼家五郎八	(邦楽) (喜劇)
昭和58	岡部伊都子 吉田玉男	(随筆) (文楽)
昭和59	横井和子 山村若佐紀	(洋楽) (邦舞)
昭和60	石濱恒夫 二世 桐竹勘十郎	(文芸) (文楽)
昭和61	津高和一 夢路いとし 喜味こいし	(洋画) (漫才)
昭和62	杉山平一 二世 中村扇雀	(文芸) (歌舞伎)
昭和63	五世 鶴澤燕三 松本尚女	(文楽三味線) (邦舞)

平成元	大谷晃一 十二世 茂山千五郎	(伝記文学) (狂言)
平成2	安藤忠雄 山崎旭萃	(建築) (琵琶)
平成3	鶴澤寛八 秋山和慶	(義太夫三味線) (指揮)
平成4	元永定正 五代目 桂文枝	(洋画) (落語)
平成5	丸山石根 七世 竹本住大夫	(日本画) (文楽太夫)
平成6	梅舒適 二世 茂山千之丞	(篆刻) (狂言)
平成7	新宮晋 三代 吉田簀助	(彫刻) (文楽)
平成8	陳舜臣 三代目 桂春団治	(文芸) (落語)
平成9	大阪市音楽団 二代目 桂枝雀	(吹奏楽) (落語)
平成10	藤本義一 吉田文雀	(文芸) (文楽)
平成11	大槻文蔵 二代目 片岡秀太郎	(能楽) (歌舞伎)
平成12	奈河彰輔 森南海子	(歌舞伎) (服飾)
平成13	コシノヒロコ 眉村卓	(服飾) (小説)
平成14	白髪一雄 七代 鶴澤寛治	(現代美術) (文楽)
平成15	岩田直二 山村楽正	(演劇) (邦舞)
平成16	桂信子 九代 竹本綱大夫	(俳句) (文楽)
平成17	植田紳爾 宮本輝	(歌劇) (小説)
平成18	難波利三	(小説)
平成19	十五代目 片岡仁左衛門	(歌舞伎)

大阪芸術賞特別賞

平成18	大植英次	(洋楽)
平成19	小栗まち絵	(洋楽)

大阪文化発信賞

平成18	四代目 坂田藤十郎	(歌舞伎)
平成19	藤山直美	(演劇)

※平成20年度は休止

※平成21年度から5つの賞(大阪文化賞、大阪文化賞特別賞、大阪芸術賞、大阪芸術賞特別賞、大阪文化発信賞)を大阪文化賞に一本化した。